

アメリカ合衆国ハワイ州

提携年月日

昭和60年(1985年)6月14日

提携の動機及び経過

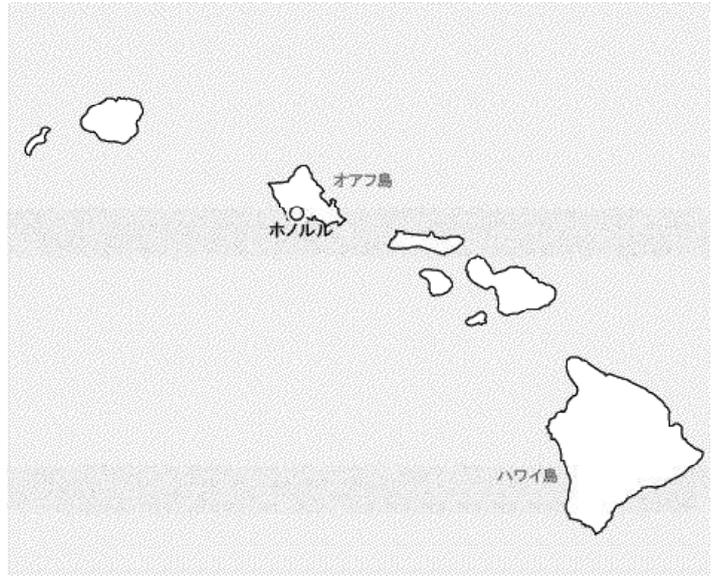
1899年、沖縄からの第1回ハワイ移民以来、ハワイと沖縄の間には様々な交流が行われてきた。

ハワイの県系人はハワイ州社会の一員としてその発展に多大な貢献をしてきた。2014年には、デービッド・イゲ氏が県系人として初めて州知事に就任した。

沖縄県とハワイ州とは産業構造や自然環境の類似点や、また、多くの沖縄県関係者が在住していることから、1985年にハワイ州にお

いて、沖縄県民とハワイ州民との友好の絆を強化し、文化・産業の交流を一層促進するとともに、相互の親善と理解を深めることを主眼として沖縄県知事とハワイ州知事が姉妹提携宣言書に調印した。姉妹提携から30周年を迎えた2015年には、両県州で開催した記念式典に双方の知事が出席し、更なる友好交流の推進を確認した。

ハワイとは人的交流を積極的に推進しており、昭和55年度からこれまでに、ウチナンチュ子弟等留学生(旧海外移住者子弟留学生)をハワイから43名受け入れ、日本や沖縄の文化等を学ばせているほか、平成2年度からハワイと沖縄の高校生の交換交流事業を実施している。また、昭和56年度からハワイ沖縄連合会が、沖縄の歴史や文化に触れ、ハワイと沖縄の友好親善を促進することを目的としてハワイ沖縄スタディーツアーを実施している。



沖縄県・ハワイ州姉妹提携宣言

沖縄県とハワイ州は、この宣言文によって、両県州の姉妹関係締結に合意し、これを確認する。

この提携は、沖縄県民とハワイ州民の友好の絆を強化し、相互に文化、産業の交流を促進し、もって両県州民の親善と相互理解を深めることを主眼とするものである。

我々は、この姉妹関係締結により、双方の経済、社会及び文化の発展に寄与することを確信するものである。

昭和60年6月14日

沖縄県知事 西 銘 順 治